

2023年11月2日

東日本電信電話株式会社 宮城事業部

仙台朝市の更なる活性化に向け「仙台朝市感謝祭」にて NTT東日本が宮城学院女子大学とのコラボ企画を実施 —データ活用により有用性検証を行います—

東日本電信電話株式会社 宮城事業部(執行役員 宮城事業部長:須藤 博史、以下 NTT 東日本)は、仙台朝市商店街振興組合(理事長:佐藤 誠、以下仙台朝市)と宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 舩井ゼミナール^{※1}(現代ビジネス学部准教授:舩井 道晴、以下宮城学院女子大学)と連携し、仙台朝市の更なる賑わい創出に向けた取り組みを 2022 年より継続的に実施しています。

この度、2023 年 11 月 11 日に仙台朝市が主催する「仙台朝市感謝祭」において、これまでの取り組みで取得してきた来訪者データを活用し、更なる賑わい創出に貢献いたします。

1. 背景・目的

NTT 東日本は 2020 年に仙台市、NTT アーバンソリューションズと締結した「仙台市の都心部活性化に関する連携協定^{※2}」に基づき、地域活性化の取り組みを進めております。

連携事項の一つである「新たな街の回遊促進に向けた取り組み」について、NTT 東日本は仙台朝市、宮城学院女子大学とコラボレーションし、これまで定期的なワークショップ開催を通じて、2023年秋に竣工予定のアーバンネット仙台中央ビルを起点とした、仙台朝市並びに仙台朝市周辺の回遊性促進に向け、繰り返し課題の整理や施策検討を行った上で実施してきました。

2022 年度、NTT 東日本は ICT 活用による仙台朝市来訪者に関する属性データの収集及び可視化を行いました。滞在時間分析の結果より、来訪者のうち約 3 割は仙台朝市で購買行動を起こさずに通過しているという推察に至りました。この約 3 割の通過者に購買行動を促し新たな顧客となつていただくための施策を「仙台朝市感謝祭」で実施いたします。

*これまでの取り組みについて詳しくは、別紙 1 をご確認ください。

2. 仙台朝市感謝祭について

(1)開催日

2023 年 11 月 11 日(土) 10:30~15:00

(2)開催場所

仙台朝市(宮城県仙台市青葉区中央 3 丁目 8-5)

(3)実施内容

- ・バンド演奏、いかぼっぼやき、ライブなど
- ・仙台朝市キャラクターグッズ抽選会 12:30~
(仙台朝市×宮城学院女子大学×NTT 東日本 コラボイベント)

*引換商品が無くなり次第終了

(4)主催

仙台朝市商店街振興組合

3. 仙台朝市感謝祭における NTT 東日本の役割

(1) 仙台朝市感謝祭における抽選会イベントの有用性検証

2022 年度、NTT 東日本が行った来訪者データ測定結果をもとに 3 者で新たな顧客を獲得するための施策の検討を行ってまいりました。NTT 東日本で取得したデータ結果をもとに今回 3 者コラボ企画として抽選会を企画しました。

仙台朝市感謝祭当日は NTT 東日本が仙台朝市内に設置しているスマートセンサ機器「AIBeacon^{※3}」により、来訪者が所有するスマートフォンから個人情報を除く性別や年代、居住地などの属性データ並びに仙台朝市内の滞留時間等のデータを収集し、宮城学院女子大学とのコラボレーション企画(抽選会)により購買行動を起こす来訪者の変化を検証いたします。

* 抽選会の内容、オリジナルグッズ等については、別紙 2 をご確認ください。

(2) デジタルサイネージを活用した事前告知

認知向上・来訪者数増加に向け、NTT 東日本五橋ビル、NTT 東日本仙台青葉通ビルのデジタルサイネージにて仙台朝市感謝祭の開催をお知らせします。

4. 今後の取り組みについて

収集したデータをもとに来訪者の傾向や購買行動有無推定などについての分析を行い、施策効果の把握や長期的な賑わい創出、回遊性の更なる促進に繋がる仕組みの構築にむけて、3 者連携にて継続して取り組んでまいります。

※1 宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 舛井ゼミナール

「ICT を活用して地域の課題を解決する」をテーマとし、アプリケーションの開発や情報発信などの活動に取り組んでいます。

※2 都心部の活性化に関する連携協定

2020 年 5 月に仙台市、NTT 東日本、NTT アーバンソリューションズは、仙台市の都心部活性化に向け締結した連携協定です。多様なイノベーション創出やスタートアップ拠点形成など、5 項目の連携事項について取り組みを行っております。

(URL: https://www.ntt-east.co.jp/miyagi/information/detail/pdf/20200513_01.pdf)

※3 AIBeacon(エーアイビーコン)

「ビッグデータ解析システムと Wi-Fi センサーが一体となった Beacon 機器(スマート・センサ)・アプリケーション機能」の総称です。スマートフォン独自のデータマイニング技術を利用した通信機器として株式会社アドインテが開発(特許取得済み)した、スマートセンサ機器です。

(URL: <https://www.aibeacon.jp/about/>)

【別紙1-1】これまでの取り組み

● 仙台朝市の活性化、若年層等の新たな顧客層の獲得を目指し、宮城学院女子大学と連携したデータ活用施策を実施中です

<2022年度取り組み内容>

- ・ 学生手作りのMAPや看板を日曜市で設置し、客層や人の流れの変化等を検証
- ・ 仙台朝市内にAI Beacon(アドインテ社)を設置し、来訪者の属性や滞在時間を調査・分析

<2023年度取り組み内容>

- ・ 2022年度のデータを基に、仙台朝市での滞在時間を延ばす取り組みを継続して展開



NTT東日本 スマートイノベーションラボ仙台でのワークショップ模様。
定期的にワークショップを開き、課題の確認と解決に向けたディスカッションを行っています

● 仙台七夕前夜祭の8月5日に、仙台朝市での購入額に応じて学生作のオリジナルグッズをプレゼントするスタンプラリーを開催しました



うちわ・トートバック等、宮城学院女子大学生デザインのオリジナルグッズ



オリジナルポロシャツを着用していただきました



学生たちがスタンプラリーを実施。来訪者に呼び掛けています

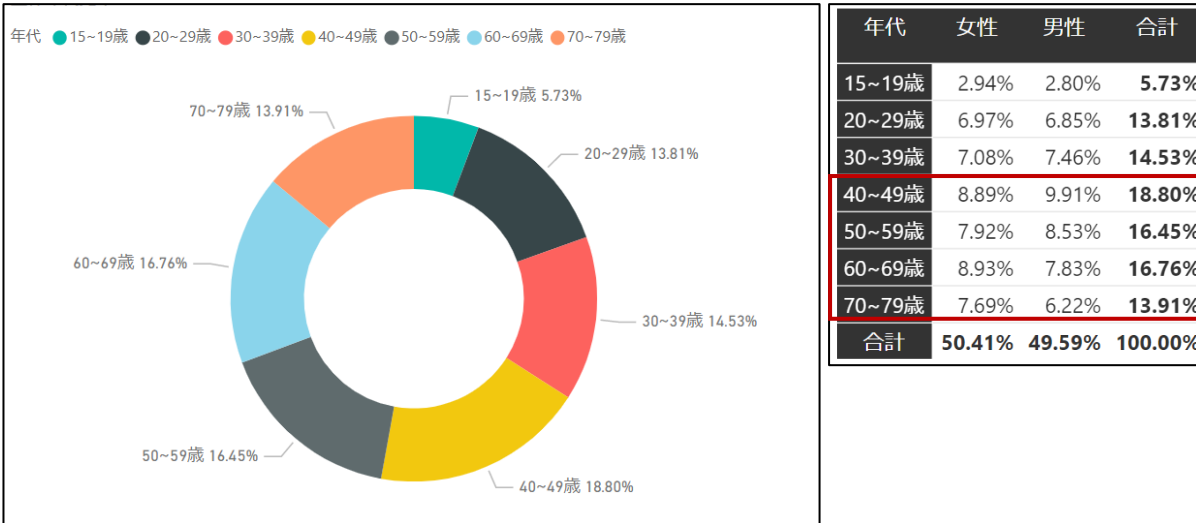


【別紙1-2】2022年度に取得したデータを基にした推察

●データ測定に関する条件等

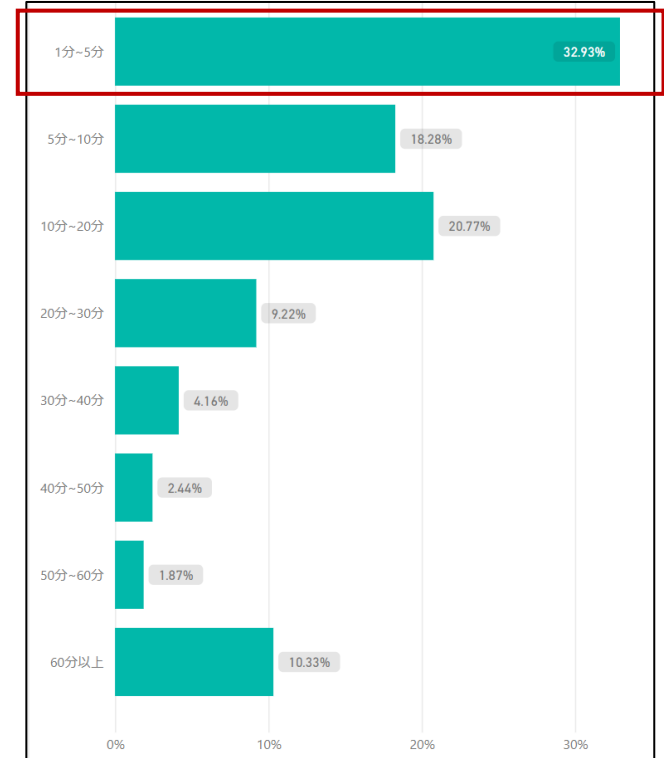
- ・測定期間：2022年10月6日～2023年1月31日
- ・測定方法：AIBeacon(アドインテ社)を仙台朝市内の2箇所に設置し、継続的に測定(Wi-FiによるセンシングとGPSデータの組み合わせによりスマートフォンよりデータを取得)
- ・測定内容：仙台朝市来訪者の年代・性別・滞在時間など

■年代別来訪者の割合



- ・40代以上の来訪者が全体の約66%。
- ・70代以上は若年層と比べてスマートフォン所持率が低いと考えられることから、実際は40代以上が占める割合が更に高くなると推測できる
- ・40代男性の割合が最も高いことから、通勤ルートとして仙台朝市を通過していることが推測できる

■来訪者の仙台朝市滞在時間分布



- ・3割以上が5分以内の滞在時間
- ・5分以内の場合、購買行動はおこさずに仙台朝市内を通過していると推測できる

【別紙2】

仙台朝市感謝祭 抽選会

仙台朝市 × 宮城学院女子大学 × NTT 東日本

①各店舗のおすすめ商品を購入！

②おすすめ商品1個で1枚シールGET！

カラくじ無し!!

③シールを3枚集めて仙台朝市くじ引きに挑戦！

④さらにシール1枚GET（計4枚）で仙台朝市オリジナル

グッズくじ引きに挑戦！



どれかが
当たる!!